

令和4年6月4日

掛川市・菊川市

市民対話集会等の報告

【 要 旨 】

新たな廃棄物処理施設整備については、安全安心で安定的な廃棄物処理施設の稼働に資する適切な意思決定が可能となるよう、検討委員会にて検討を進めていただいているところである。

今回、掛川市、菊川市と地元及び近隣自治区において、検討委員会の進捗等を報告するとともに、意見交換を行うため、市民対話集会等を開催した。

1. 満水区対象

- (1) 日 時 令和4年4月29日（金・祝）午後1時30分から
- (2) 場 所 たまり一な 大研修室
- (3) 主 催 掛川市
- (4) 参加者 掛川市長、掛川市副市長、満水区区民34名
- (5) その他 地元の意向により非公開で開催
- (6) 意見交換で出された主な意見
 - ① 満水区としては産業廃棄物を受け入れることは認められない。
 - ② 今年度、掛川市がごみ減量日本一となり、近年もトップ3を維持している中、外部からごみを持ってきて焼却することは、市民感情として賛成できない。
 - ③ 一般ごみの受け入れの延長なら認める。

2. 西山口・東山口・日坂・東山地区対象

- (1) 日 時 令和4年5月14日（土）午後2時00分から
- (2) 場 所 生涯学習センター 大ホール
- (3) 主 催 掛川市
- (4) 参加者 掛川市長、掛川市副市長、西山口・東山口・日坂・東山地区区民190名、傍聴30名
- (5) その他 公開で開催
- (6) 意見交換で出された主な意見
 - ① 産業廃棄物の受け入れ、民設民営には反対である。
 - ② 基本構想策定検討の際、隣接地区が入っていない、地元に対する説明も不足していた。また、専門家も少なかったなど、策定プロセスが適切でなかった。

3. 西方地区

- (1) 日 時 令和4年5月17日（火）午後7時00分から
- (2) 場 所 西方地区センター 大会議室
- (3) 主 催 菊川市
- (4) 参加者 菊川市長、菊川市副市長、西方環境対策委員会 21 名、傍聴 20 名
- (5) その他 公開で開催
- (6) 意見交換で出された主な意見

- ① 掛川菊川はごみの少ない街ですが、今回の計画では現在の倍ほどの焼却炉が検討されている。環境にやさしい処理が求められているのになぜか。
- ② 第2回検討委員会の意見にダイオキシンのことがあるが、新施設が現施設の南側にできた場合、菊川に煙等環境に対する影響の懸念があるのか。産廃が入った場合は塩素系が増えたりすると思うが、懸念はないか。
- ③ 検討委員会でもダイオキシンや産業廃棄物の意見が出ているが、今まで燃やしたことがないものを燃やすことで環境に影響がないのか心配。
- ④ 民間がやる場合は営利であり、赤字が出ると経営がなりゆかない。公共でやれば赤字であってもなんとかやれる。水やごみに関してはなくてはならないものであるので、民間では将来性に不安がある。